

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

住友化学株式会社（証券コード:4005）

【据置】

長期発行体格付	A+
格付の見通し	安定的
債券格付	A+
債券格付（期限付劣後債）	A-
発行登録債予備格付	A+
国内CP格付	J-1

■格付事由

- (1) 総合化学大手。情報電子化学や医・農薬などのスペシャリティ領域に強みを有する。現中期経営計画（20/3期～22/3期）では前中計の取り組みを引き継ぎ、事業ポートフォリオの高度化を推進。これに沿った具体策として、近年、医・農薬で大型のM&Aを実施。これまでに医薬品では米国での新製品上市、農薬では南米での増販といった成果が現れている。一方、石油化学の重点課題であるラービグ計画は第2期の完工保証が解除（20年9月）となり、安定した操業を維持できるようになってきている。
- (2) 良好な事業基盤に変化はない。情報電子化学やエネルギー・機能材料では、エレクトロニクスや自動車などの成長領域でプレゼンスの高い有力製品を有する。健康・農業関連事業は近年、収益力が低下していたが、北米における農薬の販売環境改善や飼料添加物の収益性改善の取り組みもあって、復調してきている。また、医薬品は主力の「ラツダ」の独占販売期間終了に備えた対応が進んできた。業績に対するコロナ禍の影響は限定的で、不透明な事業環境が続く中でも、引き続き、堅調な推移が見込まれる。一方、成長投資負担で有利子負債は高水準となっているが、財務構成は着実に改善が進むと考えられる。以上を踏まえ、格付を据え置き、見通しを安定的とした。
- (3) 21/3期のコア営業利益は1,476億円（前期比11.3%増）となり、3期ぶりの増益となった。同期はペトロ・ラービグの定修や原料価格下落の影響などで石油化学が営業赤字となったが、情報電子化学および健康・農業関連事業が増益となったことが業績を押し上げた。22/3期会社計画ではコア営業利益2,000億円と2期連続増益を予想する。医薬品の新製品販売の本格化に伴う販管費増加、エネルギー・機能材料の原料価格上昇などがマイナス要因となる。一方、石油化学が交易条件の改善などで黒字転換することが大きなプラス要因となる見込み。
- (4) 有利子負債はコロナ禍に対応した手元資金の確保もあって、20/3期後半以降、1.4兆円前後の水準で高止まりしている。一方、利益蓄積は着実に進んでおり、同期末の自己資本は1兆円台に乗った。この結果、21/3期末のネットDERは0.76倍（自己資本ベース、劣後債の資本性考慮）と、20/3期末（0.95倍）に対し改善した。キャッシュ・コンバージョン・サイクル改善の取り組みには足踏みが見られるが、政策保有株式などの資産売却は順調に進んでいる。財務規律に関する方針にも変化はない。

（担当）殿村 成信・藤田 剛志

■格付対象

発行体：住友化学株式会社

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A+	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第45回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200億円	2011年10月28日	2021年10月28日	1.22%	A+
第49回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2014年4月25日	2024年4月25日	0.944%	A+
第52回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2016年9月1日	2036年9月1日	0.850%	A+
第53回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2016年9月1日	2026年9月1日	0.300%	A+
第54回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2016年9月1日	2023年9月1日	0.200%	A+
第55回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2017年9月13日	2037年9月11日	0.880%	A+
第56回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200億円	2017年9月13日	2027年9月13日	0.380%	A+
第57回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2017年9月13日	2024年9月13日	0.240%	A+
第58回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	300億円	2018年4月17日	2038年4月16日	0.900%	A+
第59回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200億円	2018年4月17日	2028年4月17日	0.355%	A+
第60回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	150億円	2019年4月16日	2039年4月15日	0.900%	A+
第61回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200億円	2019年4月16日	2029年4月16日	0.400%	A+
第62回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2020年10月22日	2040年10月22日	0.780%	A+
第63回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2020年10月22日	2030年10月22日	0.360%	A+
第64回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200億円	2020年10月22日	2023年10月20日	0.001%	A+
第1回利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債（劣後特約付）	1,500億円	2019年12月13日	2079年12月13日	(注1)	A-
第2回利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債（劣後特約付）	1,000億円	2019年12月13日	2079年12月13日	(注2)	A-

(注1) 発行日の翌日から2029年12月13日までにおいては年1.30%。2029年12月13日の翌日から2049年12月13日までにおいては6ヵ月ユーロ円ライボーに1.50%を加えた値。2049年12月13日の翌日以降においては6ヵ月ユーロ円ライボーに2.20%を加えた値。

(注2) 発行日の翌日から2024年12月13日までにおいては年0.84%。2024年12月13日の翌日から2029年12月13日までにおいては6ヵ月ユーロ円ライボーに0.85%を加えた値。2029年12月13日の翌日から2044年12月13日までにおいては6ヵ月ユーロ円ライボーに1.15%を加えた値。2044年12月13日の翌日以降においては6ヵ月ユーロ円ライボーに1.85%を加えた値。

対象	発行予定額	発行予定期間	予備格付
発行登録債	1,000億円	2020年7月4日から2年間	A+

対象	発行限度額	格付
コマーシャルペーパー	1,800億円	J-1

格付提供方針に基づくその他開示事項

- 信用格付を付与した年月日：2021年9月15日
- 信用格付の付与について代表して責任を有する者：殿村 成信
主任格付アナリスト：殿村 成信
- 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
- 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2014年11月7日）、「化学」（2012年3月26日）、「ハイブリッド証券の格付について」（2012年9月10日）として掲載している。
- 格付関係者：
(発行体・債務者等) 住友化学株式会社

6. 本件信用格付の前提・意義・限界：

本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。なお、本件劣後債につき、約定により許容される利息の支払停止が生じた場合、当該支払停止は「債務不履行」に当たらないが、JCRでは債務不履行の場合と同じ「D」記号を付与することとしている。

本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。

本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。

7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：

- ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
- ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明

8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：

JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。

9. JCR に対して直近 1 年以内に講じられた監督上の措置：なし

■ 留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかなるものを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っており、JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■ 用語解説

予備格付：予備格付とは、格付対象の重要な発行条件が確定していない段階で予備的な評価として付与する格付です。発行条件が確定した場合には当該条件を確認し改めて格付を付与しますが、発行条件の内容等によっては、当該格付の水準は予備格付の水準と異なることがあります。

■ NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a) 項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■ 本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル